

みさと 市議会だより



No. 183
2020年11月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の意思決定機関です

主な内容

令和2年9月定例会

- ・ 論点①「立花小学校の大規模改修が始まります」・・・ 2
- ・ 論点②「小・中学校にタブレット型パソコンを導入」・・・ 3
- ・ 令和元年度決算の審査概要・・・ 4
- ・ 新型コロナウイルス対策補正予算トピックス・・・ 6
- ・ 市政に対する一般質問・・・ 7
- ・ 市議会って何？、議会あれこれ・・・ 12
- ・ 議会を傍聴しませんか・・・ 13
- ・ 第1回臨時会及び9月定例会提出議案とその結果・・・ 14
- ・ 意見書・人事案件・・・ 15
- ・ 読者の声・・・ 16

9月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

論点

立花小学校の大規模改修が始まります

9月定例会

8/31~9/18

現在の東側玄関



9月定例会には、市長から「工事請負契約の締結について」など22議案が提出され、原案どおり可決しました。

議案第59号 工事請負契約の締結について

〈内容〉

立花小学校大規模改修は、屋上防水、外壁、内装、外構工事を行います。児童の安全や教育環境に十分配慮のうえ、工事を進め、令和3年3月を完了予定としています。

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

問 大規模建築改修工事に至った経緯は。

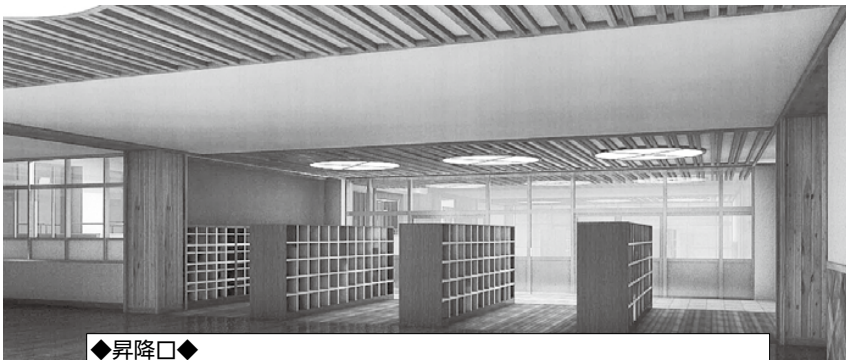
答 教育委員会では、学校の適正規模の観点から令和3年4月に彦成小学校及び、幸房小学校の通学区の一部を立花小学校への通学区に変更することとなった。そのため、立花小学校の児童数増加を見込み、環境整備を図るため改修工事を行う。

問 内装改修工事において壁などの一部を木質化とあるが、森林環境譲与税を財源として活用できないのか。

答 内装改修工事では、昇降口やICT教室に木材の利用を予定している。財源は、文部科学省の学校施設環境改善

交付金を活用する。森林環境譲与税の活用については、関係部局と今後協議したい。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告しました。続いて採決の結果、全議員賛成で可決しました。



◆昇降口◆

天井などを木調にし、木の温かみのある落ち着いた雰囲気としている。

論点

小・中学校にタブレット型 パソコンを導入

議案第60号 財産の取得について

〈内容〉

市内小学校13校及び中学校8校の合計21校に、児童・生徒用8806台、教員用309台の合計9115台のタブレット型パソコンを購入します。各タブレットには初期設定をはじめ、授業で使用するためのソフトウェアも設定します。

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

問 タブレット型パソコンを購入契約した理由は。技術の進歩の観点からリースの方が良いのでは。

答 国の新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用するため、複数年にわたるリース契約とせず購入することにした。

問 使用の方法をくわしく。

答 一人一台の使用ができる環境とし、検索サイトを利用しての調べ学習や一人ひとりの課題に応じた同時双方向の

意見交流を想定している。また、有害サイトの閲覧を制限できるフィルタリングソフトも導入する。

問 1年以内は補償の対象だが、家庭に持ち帰り本人以外が壊してしまった時の対応は。

答 故意でなければ、その状況を家庭と学校とでよく確認したうえで対応していきたい。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、全議員賛成で可決しました。

導入予定タブレットPC

基本仕様.....

- キーボード着脱型
- OS:Windows10
- Microsoft office365
(ワード、エクセル、
パワーポイント、チームス)
- 授業支援システム
(教材の配布、提出等)



※令和2年度中には、全小中学校にタブレットPCが導入されます

すすめる・ひろめる・たかめる

三郷市 GIGA3プロジェクト 始動

国の「GIGAスクール構想」を受け、本市においても「小・中学校における高速大容量通信ネットワーク」及び「児童生徒に1人1台タブレット端末」の整備に向けて準備を進めると同時に教員研修の充実を目指し、「三郷市GIGA3(ギガスリー)プロジェクト」を組織しました。

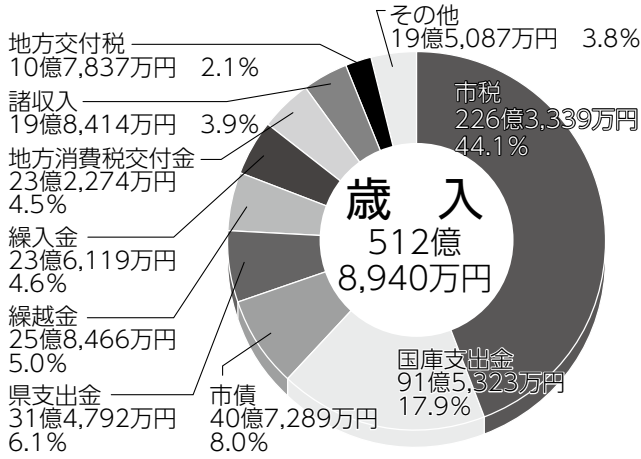


研究協議会では、今後導入される「同時双方向による授業支援システム」活用のための協議を行いました。

◆立花小学校の新しいICT教室◆
プログラミング教育で利用するICT教室は、壁の一部をホワイトボードとし、大人数での書き込み、スクリーンとしての利用、さらに映し出した表や図に直接書き込みができるように整備します。



現在の視聴覚室



歳入区分	説明
市 税	市民税、固定資産税など
国 庫 支 出 金	特定の事業のために国から交付
市 債	市が長期に渡って借りるお金
県 支 出 金	特定の事業に対して県から交付
繰 越 金	前年度一般会計からの繰り越し
繰 入 金	基金や特別会計からの繰り入れ
地方消費税交付金	県の地方消費税収入の中から交付
地 方 交 付 税	財政状況に応じて国から交付

令和元年度決算を認定 税金の使い方を確認しました



江戸川沿いの「みさとの風ひるば」

議案第69号「令和元年度三郷市一般会計歳入歳出決算認定について」では、決算額は、歳入512億8,940万円(前年度比2.6%増)、歳出490億1,030万円(前年度比3.4%増)となりました。本会議での上程説明及び質疑、各常任委員会での審査の要旨をお知らせします。

歳入の地方分権推進交付金は、埼玉県から移譲された事務処理にかかる経費について、県から交付されるものである。令和元年度は43件が対象事務となっている。公文書の保管については、一部を外部倉庫業者に委託している。耐震・耐火構造の堅固な建物を指定しており、安全性が確保されている。外部保管の文書については、今のところ紙媒体のみであり、公文書の電子化については、情報管理部門と検討をしている。地方創生推進事業(都市型ヘルスツーリズム推進)では、

ヘルスツーリズム ツアープログラムを策定

《総務常任委員会》



大場川下流排水機場のポンプ

産官学連携によりツアープログラムを策定した。新しい生活様式において、ヘルスツーリズム事業をどのように成功に導くかということも含め、今後の検討課題と考えているとのことでした。

風しんの抗体検査や ワクチン接種を強化

《市民福祉常任委員会》

個別予防接種事業では、オリンピック・パラリンピックによる外国からの来訪者増にそなえ、風しんの抗体を持っている割合が高い年代の男性を対象とした取り組みを行った。こども医療費支給事業及びひとり親家庭等医療費支給事業による支給人数は、こども医療費が1万9,228人、ひとり親家庭等医療費が1,171人である。生活困窮者自立支援事業について64件の相談内容は、生活費・家計に関するものが39件、就労に関するものが6件、住居確保給付金に関するものが8件、債務に関するものが4件、学習支援に関するものが3件、引きこもり・病气・その他の相談が4件であるとのことでした。

チャレンジ農業支援 メロン栽培を促進

《文教経済常任委員会》

農業経営・生産支援事業では、チャレンジ農業支援事業補助金として、メロン栽培比較研究の申請があった。

令和元年度の主な事業

- ☆南部地域拠点整備事業
- ☆みさと団地多世代交流複合施設検討事業
- ☆ホストタウン推進事業
- ☆子育て支援事業(未就園児等全戸訪問)
- ☆地域防災推進事業
- ☆観光協会法人化検討事業
- ☆大場川下流排水機場ポンプ増強事業
- ☆ブロック塀等の安全確保事業
- ☆地域拠点基盤整備(フルインター化)事業
- ☆小中学校空調設備整備事業
- ☆学校教育環境整備計画等策定事業

令和元年度 特別会計決算

5つの特別会計決算は、各常任委員会で審査し、本会議において認定しました。



国民健康保険

歳入 146億9,263万円
歳出 145億6,219万円

審査では、特別調整交付金は地域の特殊事情に応じて交付されるもので、未就学児医療費分が、令和元年度に交付されなかったことにより減額となったとのことでした。



介護保険

歳入 96億6,984万円
歳出 91億9,276万円

審査では、認知症総合施策事業の相談支援事業では、認知症に対する施策を推進するために、6か所の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置したため増額となったとのことでした。



後期高齢者医療

歳入 15億 961万円
歳出 14億2,577万円

審査では、平成30年度の滞納者不納欠損件数は598件135名、令和元年度は589件135名であり、9件減であったとのことでした。



上水道事業

※ 歳入 36億5,673万円
歳出 40億3,811万円

審査では、節水により使用水量が減少したり、減価償却費や委託料などの支出が増加したことにより差引純利益が減となったとのことでした。

討論として、「石綿セメント管の改良工事は早期に対応していくべきであるが、市民のニーズに応えきれていないことから反対」などがありました。

※決算額は収益的収支と資本的収支の合計額です。

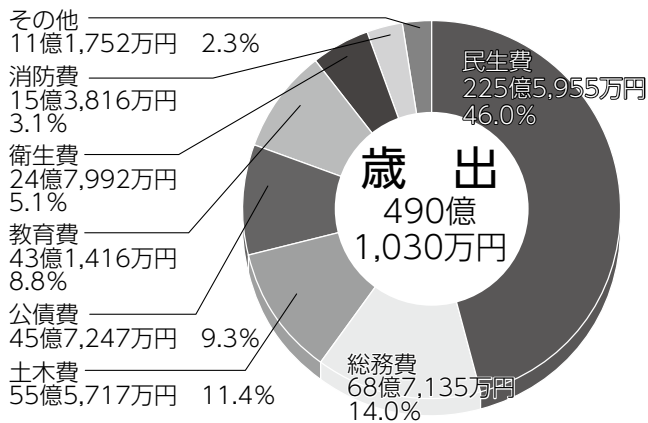


公共下水道事業

歳入 46億3,705万円
歳出 42億7,226万円

審査では、令和4年度に早稲田幹線430メートル区間の耐震工事が完了する。令和2年度からはストックマネジメント計画の策定に着手し、老朽化対策の実施箇所を踏まえながら耐震化対策を進めるとのことでした。

討論として、「受益者負担延滞金では延滞となっているかたがおり、市民への負担に課題が残ることから反対」などがありました。



歳出区分	説明
民生費	子ども、高齢者、障がい者などの福祉事業費など
総務費	防災や防犯、マイナンバーカード交付、市税の課税徴収など
土木費	道路や河川、公園整備など
公債費	市債の返済金
教育費	学校教育費、「日本一の読書のまち」推進事業など
衛生費	ゴミの収集や予防接種など
消防費	消火・救急活動などに使うお金
その他	議会費、商工費、農林水産業費など

オリンピック・パラリンピック対応英語力育成事業では、英検受験のための講座等を行っている。小学3年生以上の学級になるべく多くALT（外国語指導助手）が参加し、授業を支援する体制になっている。

「日本一の読書のまち」推進事業では、民間企業が協力してふれあい文庫が設置された。また、協働事業によるお話し等のイベントを実施することができたとのことでした。

歩行環境の確実な改善に向けた取組を継続

《建設水道常任委員会》

歩道整備は、歩道整備事業のほか道路維持修繕事業によりガードパイプなどを整備し、歩行環境の改善に努めた。大場川下流排水機場ポンプ

討論として、「子育て応援や中小零細企業の営業を守る取り組みが消極的に留まっていることから反対する」などがありました。

増強は令和2年度に除塵機や電気設備の工場製作を行い、来年度は据え付け調整をする。都市公園整備では、本市は県平均を上回る1人当たり7・14平方メートルが整備されており、今後は借地による公園整備も含めて検討し公園面積の確保に努めるとのことでした。

討論として、「水路の改修事業では市民ニーズに対して十分対応できないため反対する」などがありました。

新型コロナウイルス対策補正予算トピックス

第2弾 一般会計補正予算(第4号)ほか

新型コロナウイルス対策の補正予算第2弾として、7月22日に開催された第1回臨時会では、令和2年度三郷市一般会計補正予算(第4号)、令和2年度三郷市上水道事業特別会計補正予算(第1号)が付議され、議会は同日審議、可決しました。その主な内容は次の通りです。

健康推進課事務

3,121万円

- 内容 主にPCR検査費の自己負担分について助成をするもの。
- ◎ 市民への周知は。
 - Ⓐ さかのぼって支給するものもあるため、できるだけ早めにHPやSNS、広報で周知を図る。

民間保育所等運営支援事業

3,100万円

- 内容 認可保育所及び認可外保育所施設に対する感染症対策支援と認可外保育施設の利用自粛に伴う保育料について補助をするもの。
- ◎ 補助金の用途は。
 - Ⓐ 子ども用マスクや消毒用エタノール、体温計、空気清浄機等の購入に対するものである。

中小企業経営・創業支援事業

5,000万円

- 内容 三郷市がんばろう企業応援事業補助金(特例枠)を追加し、市内の中小事業者を補助するためのもの。
- ◎ 6月に増額補正した補助金特例の実績は。
 - Ⓐ 1件あたり平均額は60万円で、94件に助成。受付開始から1か月ほどで予算額に到達した。

飲食補助クーポン券事業

2億2,800万円

- 内容 特に打撃を受けた市内飲食店を支援するため、全世帯に一律3,000円分の割引クーポンを配布するもの。
- ◎ 使用できる期間は。
 - Ⓐ 令和3年1月31日までである。



上水道事業会計補助事業

1億800万円

- 内容 水道料金のうち基本料金2か月分(検針1回分)を全額免除するためのもの。
- ※免除による上水道特別会計の減収分を一般会計から繰り入れして補填する。
- ◎ 減免の対象時期は。
 - Ⓐ 9月検針と10月検針を対象とする。

災害備蓄品整備事業

2,430万円

- 内容 避難所等の感染防止対策物品の備蓄を増強するもの。

第3弾 一般会計補正予算(第6号)

新型コロナウイルス対策の補正予算第3弾として、9月定例会中の14日に令和2年度三郷市一般会計補正予算(第6号)が追加で市長より提出され、議会は同日審議、可決しました。その主な内容は次の通りです。

任意予防接種費助成事業及び個別予防接種事業

1億3,166万円

- 内容 新型コロナウイルスとインフルエンザが同時流行する時期を迎えるにあたり、重症化のリスク低減と医療体制の維持・継続を図るため、インフルエンザ予防接種費用の助成をするもの。
- ※65歳以上のかた・妊婦のかたには全額助成し、2回接種をする生後6か月から12歳までのかたには1回につき2,000円を助成する。

中小企業経営・創業支援事業

2,000万円

- 内容 三郷市がんばろう企業応援事業補助金(通常枠)を増額するもの。

農産物の流通販売促進事業

500万円

- 内容 感染症対策をする農家の安全・安心の取組を広く周知するため「安全・安心、三郷産農産物」PRシールを作成する。そのほか、野菜袋代を補助するもの。





市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

佐々木 修	加藤 英泉	野村 浩之	佐藤 睦郎
深川 智加	柳瀬 勝彦	佐藤 裕之	鈴木深太郎
柴田 吾一	佐藤 智仁	鳴海 和美	工藤智加子
渡邊 雅人	稲葉 春男		

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、4日間にわたり14人の議員が活発な論戦を展開しました。
※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

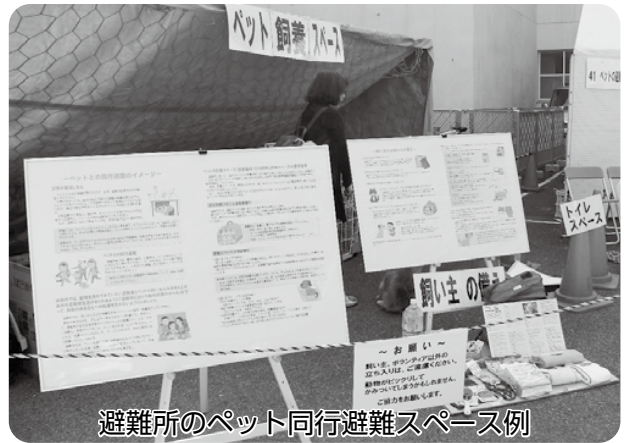
ペット同行避難の 避難所運営マニュアル

議員

平成28年6月議会では、「地域防災計画にもあるとおり、ペットとの同行避難は必要で、各避難所においてスペースは確保してある」。令和元年12月議会では、「避難所開設運営マニュアルには、避難者とともに避難したペットに関するルールの詳細な内容がないので、まずは基本となるマニュアルを市が作成し、各避難所の地域の実情に即したマニュアル作成ができるよう取り組んで行きたい」と答弁があった。現在のペット同行避難用の避難所開設運営マニュアルの進捗状況について伺う。

危機管理監

「ペットは居住スペースに入れない」、「ペットは飼い主が責任を持って世話をする」、「避難所では飼養のルールを順守すること」を避難所における3つの原則として掲げ、「ペットの同行避難に関する各避難所における基本マニュアル」を策定した。災害が発生した際には、各避難所の実情に合わせた対応が求められることから、今後協議するための「手引き」



避難所のペット同行避難スペース例

として使用し、適宜見直しを図っていく。

その他の質問

情報発信。

市内経済の活性化対策として

がんばろう企業応援第3次補助金を

議員

市内には、個人・法人合わせて5085前後の事業者がいるが、がんばろう企業応援事業補助金の受給者は第1次、第2次を合わせても200(4%)に満たない事業者数で、休業業・解散もせず必死に耐えて次の機会を待っている。予算としては、今年度実行

◆議会の詳細は「会議録」で

三郷市議会ホームページまたは、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお9月定例会の会議録は11月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開

閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますのでご覧ください。

URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

三郷市議会 会議録

検索

されないオリ・パラ関連予算が5千万円から6千万円、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち約8500万円が留保されており、さらに令和元年度決算の繰越金が22億7910万円ある。昨日これらを財源に、がんばろう企業応援補助金を追加する補正予算が可決されたが、事業者に幅広く行き渡るようにするべきだと考える。制度の周知を徹底して行なってほしい。

市民経済部長 今回、意欲ある市内事業者を一層支援するために、補助金の増額を行った。広報並びに市のホームページ、SNS等での発信、さらに三郷市商工会の協力を得て会報への折り込みにより、広く周知を図っていく。

三郷市における まちづくりのビジョン



整備された三郷インター南部地域

議員 自治体にとり、まちづくりは地域を発展、活性化させるために非常に重要であり、また、財政面からも、税収を上げるための最大公約数的な最も大きな役割を果たしていると考えます。そこで、市の発展の観点から、都市計画事業等について考えを伺う。

まちづくり推進部長 第4次三郷

市総合計画及び都市計画マスタープランにおいて5つの拠点を位置づけ、さらに6つの地域を産業立地ゾーンとして、まちづくりを進めてきた。目標人口である14万人が達成されるなど、にぎわいが創出され、大きな成果が得られたと認識して

いる。三郷料金所スマートインターチェンジの開通、東京外環自動車道の高谷ジャンクションまでの延伸など交通便利性が向上し、併せて土地区画整理事業をはじめとする都市基盤の整備を行うことで、飛躍的に発展してきている。今後も、本市の発展が持続的なものとなるよう、それぞれの拠点等の特性に応じ、土地区画整理事業や都市計画制度の運用など、最適な土地利用誘導方策を検討し、魅力と活力ある誰もが住み続けたいと思えるようなまちづくりを推進していく。

マイナンバーカードの活用とデジタル化の推進で被災者支援を

議員 近年、自然災害が頻発しており、災害対策にさらなる見直しや拡充が求められる。被災した場合、被災者は様々な手続きを行う必要がある。それに対し、罹災証明書の交付、避難所入所者の情報管理、被災者台帳の作成、義援金の支給管理などの機能を有するコンピュータソフト「被災者支援システム」の導入と、マイナンバーカードの活用で、被災者の支援を円滑に行うことが可能となる。こうしたデジタル化

を推進し、被災者・行政の双方の持続きの負担軽減を図ることについて伺う。

危機管理監 現在、被災者支援シス

テムは、関係部署と機能・運用方法等の検討を行っている。被災者台帳、被災家屋台帳の機能を活用して、罹災証明書の交付をより迅速に行い、義援金や各種支援金の給付・管理など、運用できる範囲を広げていきたい。また、システムはマイナンバーに対応していることから、支援が効率的、迅速的に実行され、被災者の時間的、精神的、体力的な負担軽減を図り、生活再建に向けた歩みをより早く早める効果が期待できる。引き続き運用に向けて取り組みを進めていく。

その他の質問 コロナ対策問題など。

子どもと先生にゆとりを ～少人数学級についで～

議員 新型コロナウイルス感染症対策による長期休校後に実施された分散登校では、少人数での学校授業が行われた。教職員や生徒からは「分りやすかった」、「一人ひとり

に向き合える」など好評であった。

少人数学級をめぐっては、コロナ危機をきっかけに全国知事会などが政府に要請するなど、これまでになく大きな動きとなっている。文科省に対して市長や教育長も少人数学級に向けて要望すべきである。身体的距離の保障を目指すことや、子ども一人ひとりの成長を支えるためにも少人数学級を実現すべきだが、考えは。

学校教育部長 法律に基づき1学

級の人数が定められており、当該法律の改正及び教員の確保など、少人数学級については様々な課題がある。先般、新型コロナウイルスの感染が終息した後の新たな学びの在り方をめぐり、政府の教育再生実行会議が開かれ、少人数学級については、今後、国や県の動向を注視していく。

その他の質問 平和問題など。



行政主導で 子どもの安心安全確保を

議員 児童・生徒の安全問題について、数十年前から子どもの被害は下校時に多いことは周知の事実である。また、今後は子どもの減少に伴い学区の見直しが行われ、通学距離が延びることが予想される。そのため、

今から下校時の安全見守りについてしつかりと対応できるようにしてほしい。現状のスクールガードに頼った子どもの安全見守りだけでは、地域差もあり不安が出ている。行政主導で予算を確保し子どもを守るといふ姿勢を示し「子育てするなら三郷市で」と思ってもらえるような具体的な施策を調査研究してほしい。

学校教育部長 各学校では教職員による下校指導に加え、学校と地域が一体となって児童・生徒の安全確保に努めている。今後も登下校時に工夫している取組例を全校に情報提供するなど、児童・生徒が安全に登下校できるように努める。

市民経済部長 市内5か所の防犯ステーションにおいて、吉川警察署から不審者等に関する情報提供があった際には、対象地域を重点的にパト

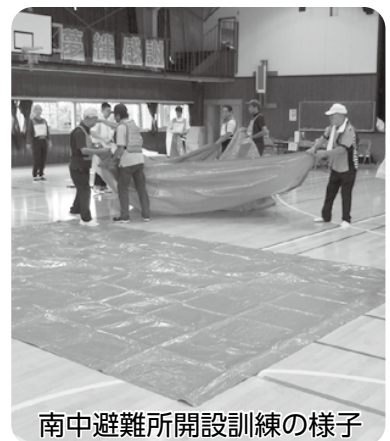
ロールしている。今後も、小・中学校や地域のかたがたとの情報共有や連携をさらに強化し、児童・生徒の安全見守り活動の充実を図っていく。

その他の質問 業務委託・指定管理について。

有事の砦となる 指定避難所（水害時）

議員 9月に入り本格的な台風シーズンとなり、近年、危険を感じるほどの台風・豪雨が頻発している。有事に備え、より冷静に、よりの確に避難行動できるよう、①避難所開設における基準、初動の流れ、②参集職員の役割、③公共施設の活用について伺う。

危機管理監 ①河川の水位状況、降雨予測、国土交通省江戸川河川事務所からの情報等を総合的に判断し、大規模災害の危険性がある場合、市全域または浸水予測される地域に対し、避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示等の避難情報を市から発令し、それに伴い指定避難所を開設する。②参集職員は、33か所の指定避難所近隣に居住する職員3名（女性1名含む）体制で、市の防災ベストを着用する。平時より指定避難所ごとの避難所運営委員会に出席



南中避難所開設訓練の様子

し、学校や地域住民と顔の見える関係の構築に努めている。③小中学校以外の地区文化センターなどの公共施設は、河川の氾濫等による洪水発生の危険性が低く、指定避難所を開設する段階にはないものについて必要に応じて「自主避難所」として開設している。

鋼製支柱の安全対策に非破壊検査システムの導入を

議員 現在、道路や公園、公共施設などの照明器材として、鋼製支柱が多く利用されている。これら鋼製支柱は、設置場所や気象条件及び交通量などにより、腐食や経年劣化を起す。鋼製支柱の点検は、目視や触診による検査で行っているが、地中基盤部分の劣化具合を正確に確認ができない。近年、超音波で診断ができる探

傷機を使った非破壊検査により、その欠陥や劣化の状況そして地面を掘削せずに鋼製支柱の埋設部を調べることができるとのこと。そこで鋼製支柱の点検として非破壊検査システムの導入について伺う。

市民経済部長 支柱照明灯の安全点検については職員の巡回のほか、目視や打音点検を行っている。今後は、非破壊検査システムの導入について検討を行うとともに安全な維持管理に努める。

まちづくり推進部長 遊具については、長寿命化計画に基づき計画的に更新を行っている。鋼製支柱は、腐食に強いアルミニウム合金製支柱への交換や補修及び撤去を実施している。非破壊検査については、日常点検や定期点検時に専門業者の意見も参考に、材質に応じた点検を検討し実施していく。

その他の質問 教育行政問題。



公園の照明灯

広報紙配布方法や ストーマ患者への助成について



広報みさとが読める
アプリCatalogPocket

議員 ①大切な情報のかたまりである広報紙は全世帯に届けられるべきである。HPやアプリで読むかたには配布をやめ、町会等未設置地域の世帯にも郵送の検討を。②図書館雑誌スポンサー制度について、スポンサー数でも「日本一」を目指すべく全庁を挙げて本制度の周知に取り組み、雑誌タイトル数の増大を。③県が掲げる「小学校区に1か所以上の子ども食堂」を上回る規模の子どもの居場所が市内各地に開設され、持続して行けるようになりとサポートを。④一時的なストーマ患者に対しても公費での助成を強く要望する。以上、4点について伺う。

企画総務部長 ①広報紙以外の配布物もあり、今後、他自治体の事例などを参考に調査研究していく。

生涯学習部長 ②次期計画で、各種企業や市内で様々な活動をされている団体等とのさらなる連携を施策に位置づけ推進していきたい。

子ども未来部長 ③子どもの居場所の広がりを目指す目的に、企業、個人、運営者相互のネットワーク作りなど運営団体の活動支援に努める。

福祉部長 ④他自治体の状況などを踏まえ、一時的ストーマ造設に対する装具給付について検討する。

生活保護者へ夏季加算を

議員 2013年、国は生活保護基準のうち食費や光熱費に充てる生活費部分について約670億円を3年かけて削減した。これが、過去に前例のない引き下げとなり利用者の生活は困窮の度を増している。世帯ごとの削減幅は平均6.5%で最大で10%に及んでいる。近年における異常気象により、熱中症など健康への甚大な被害が報告されている。しかし、生活保護費が削減されたことよって、熱中症を避けるための冷房さえも、節電のために使用を我慢している声を市民から伺っている。現在、市においては冬季に

おける加算があるが、これを拡充し夏季においても加算することについて、福祉部長の考えを伺う。

福祉部長 「夏季加算」については制度がなく、市が単独で措置することもできない。近年、猛暑が続く中、冷房等の使用による電気料金増加に対する対策が必要であることは認識しているので、被保護者の声に耳を傾けながら機会があることに国・県へ要望を行っていく。

その他の質問 医療問題など。

オンラインを活用した市民サービス向上とキャッシュレス対応

議員 コロナ感染を防ぐため、本年は多くのイベントが中止となり寂しく思っている市民は多くいる。そこで、①イベントや講座、さらに子育て相談などをオンラインツールの活用で開催することは、双方のやり取りで参加者同士のコミュニティの場づくりにもなり新しい市民サービスの向上となるが考えは。②新しい生活様式ではキャッシュレス化も推奨されていることから、手数料など市の窓口での支払いについて伺う。

子ども未来部長 ①オンラインを



市役所1階窓口風景

活用して自宅に居ながら気軽に相談ができ、双方で顔が見え表情もうかがえることなどから、相談の機会や交流の場の確保の視点からも有効な手段であり導入について検討していく。

生涯学習部長 ①市指定民俗文化財の祭礼などを取り上げた「デジタルミュージアム」の開設や、子ども司書養成講座では、動画による学習なども導入している。新しい学びのスタイルの構築実現に向け、関係部署とも調整していく。

企画総務部長 ②キャッシュレス決済は、支払いの迅速化をはじめ、集金時の紛失、金額相違などのリスク低減効果が期待できることから、国の動きや社会情勢を勘案しながら検討していく。

その他の質問 男女共同参画問題。



コロナ禍でも社会基盤を支えた保育所

保育士などに新型コロナウイルス対策の支援を

議員

保育所は放課後児童クラブと同様にコロナ禍でも閉園することなく、お子さんを預かり社会基盤を支え必要不可欠な仕事(エッセンシャルワーク)と広く社会に認知された。子どもと一緒に食事をし、寝かしつけ、排せつ援助から子どもを抱きかかえるなど子どもと密に関わるのが仕事である。一方、感染を広げてはならないという緊張とストレスの中で、子どもの安全・安心を最優先に働いている。市として、保育士などに医療介護従事者と同様に慰労金を支給するべきと考えるが見解は。

子ども未来部長 保育現場では、子どもが安全で安心して過ごせるよ

う、新しい生活様式における様々な感染防止対策と工夫を凝らしながら保育に努めている。国は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を拡充した際、慰労金の支給は重症化リスクの低い子ども分野の施設については対象外としており、保育士への支給等については、今後、国や県の動向を注視したい。

その他の質問 行政改革など。

新型コロナウイルス禍における医療・介護従事者支援

議員

新型コロナウイルス禍において心身共に特に厳しい環境の中で日々勤めていただいている医療・介護従事者に対し、市としてより一層の支援を行うべきと考える。医療・介護従事者を対象とした専用相談窓口の開設や県の事業である「介護施設におけるクラスター発生に備えた互助ネットワーク」へ市内事業者の参加を促すこと、また、各種慰労金や支援金について市内事業者の申請漏れがないよう周知・案内を行うことを求めるが考えは。

スポーツ健康部長 県では、医療従事者等をはじめとして、感染の危険と隣り合わせで働いているかたがた

の心のケアを目的とした相談窓口「エッセンシャルワーカーこころの相談」を開設している。市ホームページで案内するとともに、市においても健康相談やこころの相談を受け付けているので広く周知していく。

福祉部長 県の事業である介護施設の相互応援制度については、介護事業者がクラスターへの対応に集中できるようにするため、非常に有効なものと考えている。今後は各種制度の紹介、周知に努める。

その他の質問 広報戦略など。

市民の憩いの場を

議員

①現在、国土強靱化計画として中川戸ヶ崎地域堤防の整備が行われている。「水と緑のまち」とした三郷市の計画との整合性を図るため、釣り場などの親水設備の設置を国に要望すべきではないか。②二郷半用水路については、堀部分を整備し、流れる水辺、スイレンやシヨウブなどを植えた花のゾーン、自然植物などを観察できるゾーンの整備。③草刈りを年3回ほど実施し、三郷市の観光地域としての位置づけを意識した整備を行うことについて伺う。



二郷半用水の緑道

建設部長 ①低水部の平場により水辺に近づけることや、散策ができる堤防上の管理用道路が整備されることにより、集いや魅力ある水辺空間になると考えている。釣り場については、漁業権の課題などを整理する必要があるが、河川敷地における有効活用について調査・研究に努めていく。

まちづくり推進部長 ②堀部分の活用については、水辺を生かした魅力ある緑道とするために、今後研究を進めていく。③除草については、おおむね年2回実施し、安全上や防犯上支障となるような場所は随時対応をしている。今後も、観光ガイドマップへの掲載や、ウォーキングイベントの開催など、にぎわいのある緑道空間の創出に努めていく。

その他の質問 農業問題など。

市議会って何?



市議会は地方自治法により設置が義務づけられており、市民から直接選挙で選ばれた議員で構成された合議体で、市の意思決定機関です。

市議会の仕事

市議会には、市民の代表として十分な活動ができるよう、様々な権限が与えられており、主に次のような仕事をしています。

議決

市政運営では、重要な案件は市議会による可否の決定が必要となり、これを議決といいます。議会の議決の主なものは次の通りです。

- (1) 条例を定めたり、改正すること。
- (2) 予算を決め、決算を認定すること。
- (3) 地方税・使用料・手数料を決めること。
- (4) 一定の金額以上の工事や物件等の購入契約を決めること。

選挙・同意

議長・副議長及び選挙管理委員などを選挙したり、副市長・監査委員・教育委員会委員などの選任に対して同意をすること。

調査・検査

市政が適正に行われているかを調べるため、市の事務の検査をしたり監査委員に監査を求めたりします。

意見書の提出

市の公共に関する事項について実現に向けて、国や県などの関係機関に意見書を提出します。

請願・陳情の受理

市民から出される要望を文書で受理し、請願は採択・不採択を審議します。

市議会の会議運営

市議会には、定期的に行われる本会議と必要がある場合に開かれる臨時会があります。

招集は市長が行いますが、いずれの場合も会期を定めてその期間中に本会議や委員会を開き、議案の審査・議決を行います。

なお、三郷市では、毎年3・6・9・12月に定例会を開いています。

本会議

議員全員で構成される会議で、議案の可否を最終的に決定します。

委員会

議案などを少人数で専門的に審査するため設置します。委員会には、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会等があります。

質疑と一般質問

会議中の議員の発言として、主に質疑と一般質問があります。

質疑

本会議での議案の説明ではわからなかったことを質します。

一般質問

議案についてではなく、市政全般に関わる様々なテーマについて市の方針や市長の考え、事業計画など市民の生活に関わる内容を問い質します。

議会あれこれ



吉川市議会 加藤 克明 議長



越谷市議会 伊藤 治 議長



竜巻被害を受けた陸上競技場公園



松伏町議会 増田 等 議長

○7月25日に発生した竜巻被害に対し、越谷市、吉川市、松伏町の各議会からお見舞いをいただきました。

竜巻被害のお見舞いをいただきました

○10月30日に「第5次三郷市総合計画前期基本計画(案)」について協議しました。

全員協議会を開催しました

○9月18日に、「三郷早稲田北部地域拠点整備対策特別委員会を開催し、「三郷料金所スマートIC(フールインター化)について」と「スマートIC周辺のまちづくりについて」協議しました。

特別委員会を開催しました

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

新型コロナウイルス感染防止のため、傍聴をされるかたは、入場時に手指消毒及びマスクの着用をお願いいたします。また、体調のすぐれないかた（せき・発熱など）は、傍聴をお控えくださいますよう、ご理解のほどよろしくお願いたします。

お問い合わせ 議会事務局 ☎048(930)7768



議会傍聴Q&A

Q. 議会はいつ傍聴できますか。

A. 議会は3月・6月・9月・12月に開催されます。詳しい日程は議会事務局にお問い合わせください。

Q. 議会を傍聴したいのですが、どのような手続きをするのですか。

A. 本会議は原則として、どなたでも傍聴ができます。通常は午前10時から会議が開かれますので、7階傍聴席入口で氏名・住所を記入してから傍聴してください。なお、委員会の傍聴は委員長の許可が必要となり、6階議会事務局で受付します。

Q. 子どもと一緒に傍聴したいのですが。

A. お子さんの傍聴も可能ですが、係員の指示に従っていただく場合があります。

Q. 車椅子でも、議会の傍聴はできますか。

A. 車椅子のかたのためのスペース（3席）があります。

Q. 三郷市議会では手話による傍聴は可能ですか。

A. 議会傍聴で手話通訳または要約筆記を希望されるかたは、傍聴希望日のおおむね14日前までに議会事務局までお申し込みください。

令和2年12月定例会の予定表

※正式には、市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

月日	曜日	会議別
11月30日	月	本会議
12月2日	水	
12月3日	木	委員会
12月8日	火	本会議 (一般質問など)
12月9日	水	
12月10日	木	
12月11日	金	

傍聴のルール

- (1)騒ぎ立てたり、拍手をするなど可否を表明したり、迷惑となるような行為をしないでください。
 - (2)みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
 - (3)携帯電話・カメラ・録音機等は使用できません。(電源オフ)
 - (4)飲食または喫煙をしないでください。
 - (5)その他、議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をしないでください。
- ※傍聴されるかたは、すべて議長、または係員の指示に従ってください。

※次回の12月定例会は11月30日(月)午前10時に開会予定です。

第1回臨時会及び9月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○ = 賛成 × = 反対 △ = 棄権

号	件名	結果	21世紀	政志会	公明党	共産党	市民派
議 55	令和2年度三郷市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○
案 56	令和2年度三郷市上水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○

号	件名	結果	21世紀	政志会	公明党	共産党	市民派
57	三郷市道路線の変更について	可決	○	○	○	○	○
58	三郷市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○
59	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○
60	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○
61	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○
62	三郷市道路占用料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
63	三郷市消防職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
64	令和2年度三郷市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○
65	令和2年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○
66	令和2年度三郷市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○
67	令和2年度三郷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○
68	令和2年度三郷市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○
69	令和元年度三郷市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○
70	令和元年度三郷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○
71	令和元年度三郷市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○
72	令和元年度三郷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○
73	令和元年度三郷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○
74	令和元年度三郷市上水道事業特別会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	可決 可決 認定	○	○	○	×	○
75	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○
76	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	△	○
77	令和2年度三郷市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○
議員提出 78	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○
79	防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○
80	子どもたちの学び、心身のケア、安心安全な教育環境を保障するために少人数学級の実施を求める意見書	否決	×	×	×	○	×
81	核兵器禁止条約に参加することを求める意見書	否決	×	×	×	○	×
諮問 2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○

※このほか報告24件が提出されました。また、選挙第1号「江戸川水防事務組合議会議員の選挙」を行いました。

会派名(人数)	所属議員名
21世紀クラブ(7)	菊名 裕(議長)、岡庭 明、市川 文雄、加藤 英泉、柳瀬 勝彦、柴田 吾一、渡邊 雅人
政志会(5)	篠田 進、武居 弘治、佐藤 裕之、佐々木 修、野村 浩之
公明党(5)	酒巻 宗一、中野 照夫、鈴木 深太郎、佐藤 睦郎、鳴海 和美
日本共産党(4)	稲葉 春男、工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
市民派クラブ(1)	村上 香代子

※議長は採決には加わっていません。



国・政府に要望

9月定例会では2件の意見書を提出しました。

議案第78号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

(要望事項)

1. 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
2. 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるように総額を確保すること。
3. 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
4. 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・

拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。

5. とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特別措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

議案第79号 防災・減災・国土強靭化対策の継続・拡充を求める意見書

(要望事項)

1. 令和2年度末期限の「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」の更なる延長と拡充を行うこと。
2. 地方自治体が国土強靭化地域計画に基づき実施する対策に必要な予算の総額確保を図ること。



工事中の中川堤防

3. 災害復旧・災害関連予算の確保や補助対象の拡大を図るとともに、国土強靭化のための財源を安定的に確保するための措置を講ずること。また、その配分に当たっては、社会資本整備の遅れている地方に十分配慮すること。

「意見書」とは…

公益にかかわることについて、議会が意思決定機関として意見をまとめ、議決し、国等の関係機関へ「意見書」として要望などをすることです。



人事案件

○固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

再 田中 彰則 氏 (中央二丁目)

○教育委員会委員を任命することに同意しました。

再 森野 一英 氏 (港区高輪一丁目)

○人権擁護委員として適任としました。

新 鳥山 待子 氏 (幸房)

○江戸川水防事務組合議会議員として、次の4名が当選しました。この組合は春日部市、松伏町、吉川市及び三郷市で組織し、江戸川右岸の水防に関する事務を共同処理するものです。

再 柳瀬 勝彦 議員

再 佐藤 睦郎 議員

再 佐藤 智仁 議員

再 本間 雄一郎 氏 (消防団長)

わたしも ひとこと



歩行者にも自転車にも優しい街

主婦 60代 中央在住

私は歳をとってしまったため、安全を考え、車の運転を控えています。どこかへ出かける際は、自転車か徒歩です。三郷市は、以前は歩行者、自転車はあまり見かけませんでした。ここ数年はかなり増えました。三郷中央駅の影響でしょうか。自転車や徒歩も運動になっていいのですが、歩道や自転車専用道路がない道路では、車が怖く感じてしまいます。

すべての道路に歩道や自転車専用道路を作るのは難しいかもしれませんが、少しでも増えればありがたいなと思います。歩行者や自転車にもやさしい街になると幸いです。

自粛期間を乗り越えて気づいた大切なもの

自営業 50代 戸ヶ崎在住

コロナによって多くの出会いが制限された。イベントも地域の集いもなくなり、1年前にはこんな世の中になるとは思わなかった。

街中が静まり返った自粛期間を乗り越え、人とのつながりが大切なことを改めて実感したと思う。

つながりがなくなったと言っても、我が家の親のところには近所のかたが何人も訪れてくる。他に行くところがないのだろう。逆にまめになったようだ。ソーシャルディスタンスを保ちながら。こんな時代に声をかけてくれてありがたいことだと思う。

これをありがたいと思うか、迷惑だと思うかは、人それぞれの考え方、感じ方だ。大勢の集まりはなくなっても、地域はこうやってつながってできている。この小規模な集まりを大事にしていきたいと思った。三郷市はそんなあたたかい街であってほしいと心から思う。



三郷市菊花展を開催
(11月1日～10日)



みさと市議会だより(第183号)
発行 三郷市議会
編集 議会だより編集委員会
〒341-8501
埼玉県三郷市花和田648-1
TEL 048-9300-7768 (直通)
FAX 048-9530-13508
URL <http://www.city.misato.lg.jp>

